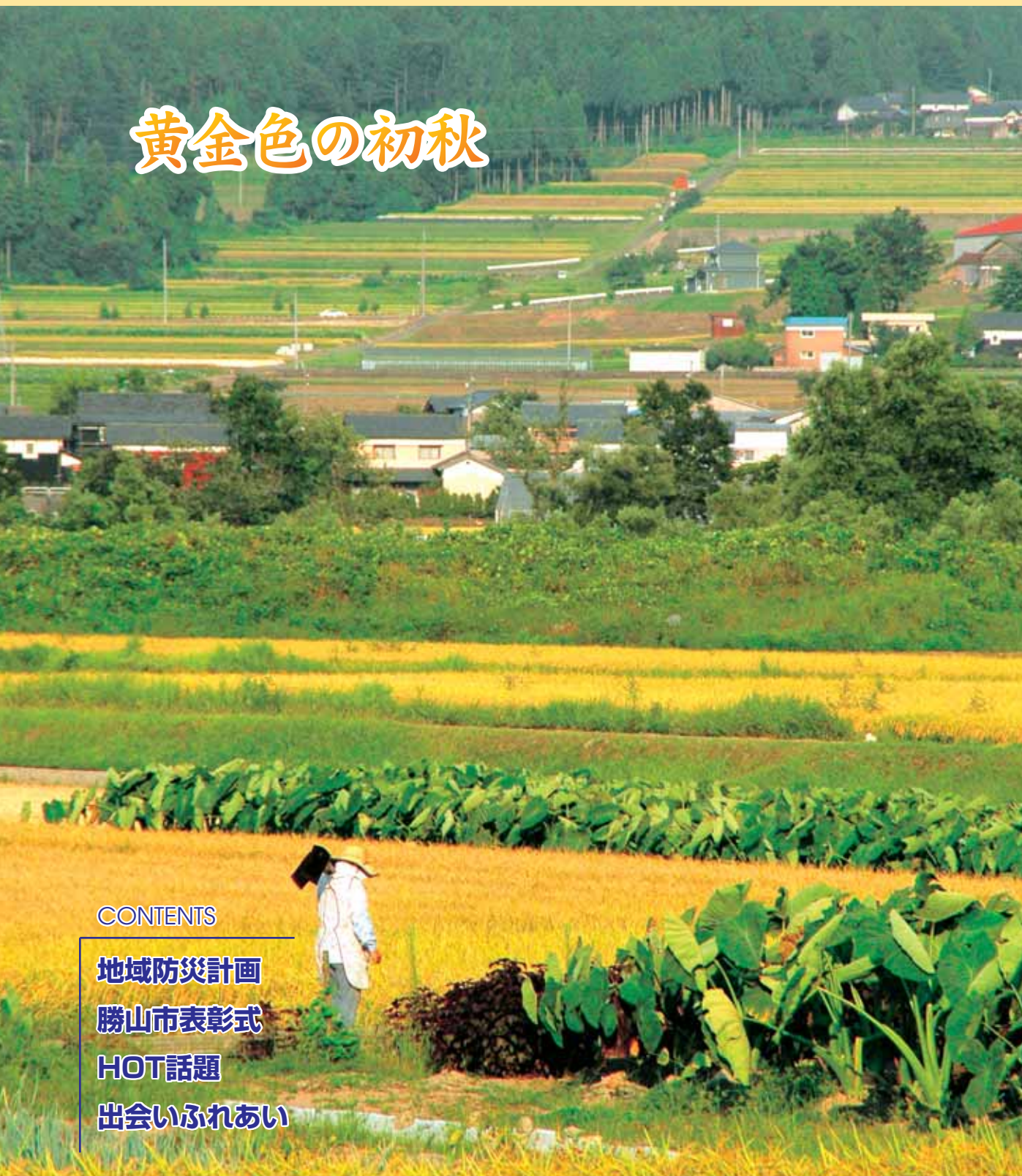


黄金色の初秋



遅羽町新道

CONTENTS

地域防災計画

勝山市表彰式

HOT話題

出会いふれあい

歴史の散歩道

(69)

平成十五年十月号「歴史の散歩道」で廟所の重塔について、「室町時代と推定される七重の層塔」と記しましたが、新資料に基づき訂正し、お詫びして記述します。

「越前拾遺録 卷之下の雑類」に「福井御泉水御亭ノ内ニ石ノ重塔アリ、古物ナリ。銘一、永享六年（一四三四）、願主永義、本宮重塔ノ十二文字アリ。元八勝山猪ノ毛屋村ニ泰澄大師母公伊野氏ノ在住ノ跡ニアリシヲ、吉品公御ヒカセ被遊、亦其迹ヘ毛石ノ塔御建遊ハサル」とある。銘の意味は「本宮重塔として永享六年に永義が建てた」である。永享六年は、平泉寺焼亡の実に百四十年以前の事である。御泉水御亭とは、現在の養浩館庭園である。県歴史博物館資料調査委員の山本昭治氏は「若越郷土研究」の中で「庭園は二代忠直公の時に造られ、七代吉品公も宝永五〜七年（一七〇八〜一〇）頃別邸改築や作庭をしているので、下毛屋から七重の石塔を邸内に運ばせ、下毛屋の跡には笏谷石で造らせた五重塔と、二基の五輪塔を建てて整備したものと考えられる。」と述べている。下毛屋から運ばれた石塔は永く御泉

泰澄大師御生母廟所 「七重塔」について

水別邸にあったが、昭和に入ってから戦災と震災により倒壊し、諸般の事情もあつてか業者の手に渡り、現在は鯖江市の民家の庭に遺存している（鯖江市指定文化財）。

この石塔は、安山岩製の重塔で、総高二九七センチメートル、初重軸部には四面にそれぞれ四仏座像を陽刻している。相輪（上部）には九輪や宝珠があり、基礎石の銘（先に述べた）を今も読むことができる。

結びとして、現在の泰澄大師御生母廟所の重塔と後列の五輪塔は、宝永五〜七年頃に福井藩主吉品公によって建てられたことになる。なお、現在のこの重塔は、七重の塔らしく見えるが、実は五重の塔で他の石塔の一部を積み上げて形態を整えているようである。

勝山市文化財保護委員 増田公輔



永享6年建造の七重の塔（鯖江市指定文化財）



編集後記

▶朝晩がめっきりと涼しくなり庭から聞こえる虫の音に耳を傾け、移り行く四季を感じる今日この頃となりました。▶田んぼは、実った稲穂で黄金色に色づき、収穫の秋がスタートしました。日中の残暑はありますがこのまま順調に秋が訪れてほしいものです。▶年度でいうと折り返し時期となる9月。市議会が開催され、補正予算の審議に加え、今回は南保育園の民営化や（仮称）おりものミュージアム建設、温水プールの購入など市民の関心が強い事柄について議論がなされます。勝山市の将来、住み良いまちづくりについて、じっくり考えましょう。



火災発生

☎88-5100（テープ吹き込み）



休日・祝日在宅当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

9/17 (日)	石川 医院	☎89-1008
9/18 (月・祝)	福井社会保険病院	☎88-0350
9/23 (土・祝)	わかばやしこども内科クリニック	☎88-2415
9/24 (日)	福井社会保険病院	☎88-0350
10/1 (日)	竹下中央内科医院	☎88-1121
10/8 (日)	福井社会保険病院	☎88-0350
10/9 (月・祝)	芳野 医院	☎88-2005
10/15 (日)	坪川 医院	☎89-1035

休日に体調が悪くなったときは、ご連絡ください。

☎消防署（☎88-0400）



交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成18年8月末	前年比
総件数	343件	19
人身事故 (うち高齢者)	65件 (11)	3 (-6)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	-2 (-1)
傷者	81人	-6
物損事故	278件	16



9月の納税

国民健康保険税▶2期
納期限▶10月2日(月)
口座振替▶9月26日(火)



人口の動き

	7月末現在	自然動態		社会動態		8月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,227人	9	-10	15	-18	13,223人	-4人
女	14,506人	4	-12	17	-17	14,498人	-8人
合計	27,733人	13	-22	32	-35	27,721人	-12人
世帯数	8,145世帯					8,144世帯	-1世帯

毎月第3日曜は

家庭の日

スポーツを楽しみ よい本に親しもう